



## RELEASE NOTES

ENGINE DJ | 2.2

### 新機能

- Active Loop機能 - 楽曲の再生位置がループ領域に入ったときに、自動的にSaved Loopを有効にする、「Active Loop」機能が追加されました。Active Loopの領域バーは縞模様のパターンで表示されるので、通常のSaved Loopと見分けることができます。Active Loopは、Engine DJハードウェア対応のパラメーターボタンを搭載したデバイスでも設定可能です。設定するには、左のパラメーターボタンを押しながら、任意のSaved Loopパッドを押します
- FX Time DivisionとFXパラメーターのUIを追加 - Numark Mixstream ProのタッチスクリーンでFX Time DivisionとFXパラメーターのUIが表示できるようになりました。これにより、エフェクトを手元でカスタマイズしながらのクリエイティブなDJプレイが、より一層視覚的に行えるようになります。(MIXSTREAM PRO)
- 未解析のトラックをデッキにロードした際も、Syncが有効のまま機能するようになりました。ロード後、解析中のトラックを再生した場合のみ、Syncは無効になります。
- Auto Loopレンジの選択肢に「32 beats」と「None」が新たに追加されました。「None」に設定すると、最後に使用したAuto Loopのサイズが自動的に適用されます。
- ジョグホイールのプッター感度(Nudge Sensitivity)の選択肢に、最小値の「Min」が追加されました。
- User Profileに、プッター感度(Nudge Sensitivity)の項目が追加されました。これにより、User Profile をロードしたEngine DJデバイスで、プッター感度のユーザー設定が自動的に適用されます。
- MIXSTREAM PROでは、左側のデッキのドットボタン(Source / Lighting)を押すだけでEngine Lightingパネルに直接アクセスできるようになりました。(MIXSTREAM PRO)
- Engine Lightingに、DMX対応ムービングヘッドライトのパンとチルトの反転機能のオプションが追加されました。
- Control Centerの設定項目に、クロスフェーダーを無効にするオプションが追加されました。(MIXSTREAM PRO)
- Virtual DJコントロール - Mixstream ProをComputer Modelに切り替えて最新のVirtual DJと接続するだけでコントローラーとして使用可能になりました。(MIXSTREAM PRO)
- Virtual DJコントロール - Mixstream ProをComputer Modelに切り替えて最新のVirtual DJと接続するだけでコントローラーとして使用可能になりました。(MIXSTREAM PRO)

## 改善点

- 検索結果表示までの時間を改善
- プレイリスト表示までの時間を改善
- バッテリー駆動時におけるタッチスクリーンの安定性向上を図る改善を実施(PRIME GO)
- VUメーターの視認性を改善 (MIXSTREAM PRO)
- タッチスクリーン輝度のデフォルト設定を「High」に変更 (PRIME GO)
- ライブラリー・ビューで一定時間以上トラックのループ再生を行ったまま波形ビューに切り替えるとフリーズしてしまう不具合を修正
- 一定の条件下においてEngine Lighting端子からの出力が正常に作動しない不具合を修正
- 壊れたオーディオトラックをロードしようとするとデバイスがフリーズしてしまう不具合を修正

## Engine DJソフトウェア(デスクトップ・アプリケーション)

### 新機能

- Active Loop機能 - 楽曲の再生位置がループ領域に入ったときに、自動的にSaved Loopを有効にすることができるようになる。「Active Loop」機能が追加されました。8つのSaved Loopは、チェックボックスにチェックを入れるだけですべて Active Loopとして設定し、色を割り当てることが可能です。また、領域バーは縞模様のパターンで表示されるので、通常のSaved Loopと見分けることも容易です。
- メトロノーム機能 - 新たにメトロノーム機能が追加されました。この機能により、ビートグリッドの編集がより正確に行えるようになります。メトロノーム機能を有効にすると、再生されるオーディオのビートマーカークが再生位置を通過する度にメトロノーム音が鳴る設定になります。メトロノームのON/OFF、または音量の調節は、すべてビートグリッド編集パネルから行うことができます。

## 改善点

- Sync Managerを使用したエクスポートの所要時間を短縮
- プレイリストを切り替えた際に、トラックの表示にかかる所要時間を改善
- Remove from Drive」および「Remove from Collection」の削除にかかる所要時間を改善
- 接続した外部ドライブ上のDropboxフォルダをブラウジングする際の動作の向上
- 対応していないトラックは赤字で表示されるようになりました
- メインデータベースが破損している場合、Engine DJが終了しなくなってしまう不具合を修正
- サードパーティーライブラリーからインポートしたトラックの「Length」タグが、解析後に更新されない不具合を修正
- 外部ドライブを接続すると、ライブラリのハイライトが現在選択されているリストからローカルコレクションに移ってしまう不具合を修正